

各 位

上場会社名	太洋物産株式会社
代表者	代表取締役社長 柏原 滋
(コード番号)	9941)
問合せ先責任者	執行役員 総務部ジェネラルマネージャー 宮内 敏雄
(TEL)	03-5402-8181)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成22年8月12日公表の「特別損失の計上に関するお知らせ」に公表しました特別損失の計上により、平成22年5月13日に公表した平成22年9月期の業績予想、平成21年11月13日公表した平成22年9月期の配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年9月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	44,800	322	142	△160	△19.07
今回発表予想(B)	40,000	△160	△360	△1,470	△175.29
増減額(B-A)	△4,800	△482	△502	△1,310	
増減率(%)	△10.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年9月期)	53,377	△3,432	△3,688	△3,508	△418.35

修正の理由

第70期第3四半期会計期間におきましては、畜肉類の販売は堅調に推移し、又、中国の高速鉄道建設等にかかる基盤整備投資が活況を呈し、建機・産機の輸出販売は好調に推移しました。しかしながら、半導体関連設備投資の回復が思わしくなく、販売に進捗がなかったこと、及び、当社主力取引先であった大豆油糧株式会社が民事再生手続開始の申立を行いましたことから、他の取引先等への転売に注力しましたが、食品用大豆の市況も低迷したことから取扱数量も低調となりました。この結果、売上高・営業利益・経常利益とも修正いたします。

又、同社の破綻により、平成22年5月13日付「特別損失の計上に関するお知らせ」で公表しました回収不能見込額3億43百万円に加え、当会計期間におきまして、同社に対し新たに発生した債権のうち、本日発表(平成22年8月12日)の「特別損失の計上に関するお知らせ」で公表しましたように、回収不能見込額8億31百万円を貸倒引当金に繰り入れ、特別損失に計上したことにより、業績予想を修正いたします。

上記結果を踏まえ、販売が堅調な畜肉類及びその加工食品の開発と販促強化、中国での建機・産機の拡販に注力するとともに、経営資源の選択と集中、構造改革による収益改善、組織改革及び特定販管費の削減、バランスシートのスリム化等の諸策をすすめ、業績の早期回復と安定を図ります。

(注)上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、最終の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

● 配当予想の修正について

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成21年11月13日発表)	—	0.00	—	6.50	6.50
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期(平成21年9月期)実績	—	0.00	—	0.00	0.00

修正の理由

当社は株主のみなさまに対する利益還元を経営における最重要政策の一つと認識し、安定的な配当の継続を基本方針としてまいりましたが、通期業績予想の修正を踏まえ、誠に遺憾ではありますが、第70期期末配当は無配とさせていただきます。

今後は、全社員一丸となりまして、早期復配を目指す所存です。
株主様のご理解と、一層のご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

以 上